



ぼらんていあ通信

8月号
通巻 No.501

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2023年8月22日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: https://sagamiva.info/



あなたは大丈夫？ 今年の夏講座は 障がいについて学ぶ！

去る7月22日(土)午後1時30分から午後4時30分まで、あじさい会館6階展示室において、「あなたは大丈夫？ 障がい者を知らない間に差別していませんか？」 障害者差別解消法を知るための入門講座が開催された。

講師は谷内孝行先生、講演後シヨートレクチャーターとして様々な事例について活動者からのお話、終了後に個別相談会も行われた。

まず初めに司会の渋谷さんから夏の講座のテーマ紹介と開催の挨拶があり、その後加藤ボラ協会長より「お書き中、たくさんの方にご参加いただき、まことにありがとうございます。自分も障害者であるが、いろいろな勉強させていただきたいと思えます。また講演後は障害を抱えた方々の日常生活に寄り添う活動を行っている団体があるということも学んでいただけたらと思います」と挨拶しました。

講師は、桜美林大学健康福祉学部准教授の谷内孝行先生をお迎えした。「自身は先天性の視覚障



笑顔も魅力的な谷内先生

性の視覚障
害者(弱視)で、大学院時代に東京都北区で市民活動を開始し「NPO

〇法人ピアネット北(基幹相談支援センター、重度身体障害者グループホーム、療育相談支援事業などを実施)を設立。また社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、公認心理士、鍼灸マッサージ師、防災士など沢山の資格をお持ちだ。

講演では、差別とは何か?という問いかけがあり、差別には①直接差別②間接差別③関連差別④合理的配慮の不提供などがあることがあった。



また、障害には二つのモデル(社会や問題を洞察する際に用いる「物事を見る視点」)があり、①個人(医学)モデル→障害の原因は個人(身体、精神)にあり、問題は機能障害(足や手が動かない、見えない目など)で目標は「正常」へ回復。②社会モデル→障害の原因は環境にあり、問題は社会にある差別や不平等で、目標は多様な人々の参加の実現である。例えば、

*一つの社会の中に存在する様々な人が快適に生活をするため、社会モデルに基づく障壁や障害を解消する。
*この障壁や障害を除去する手間に価値を見いだす。この手間こそが合理的配慮。あなたが合理的配慮を考へて提供することに



終了後に市社協の坂口さんと個別相談を!

★5頁に、受講された方々からの感想を掲載しています。

より、目の前の差別が一つ消える。さあ、今日から行動しましょう! 次は、「自身の体験から学んだこのこと」を取り上げられた。

- ①差別は人々の「無知」と「歴史」により生まれる。この「無関心」による放置をさらに増殖する。
- ②差別する側が差別する理由を相手が「差別される理由に置き換え、差別の正当化を図る(あなたが悪い! など)。

難しい内容かと思っただが、プロジェクトを使い、「自身の体験談、事例など示しながら、また学校での学生さんとの授業のやり取りなども披露され、分かりやすく楽しくお話をしてくださった。参加者の皆さんも熱心に聞き入っていた。

その後、拡大写本の田中さんより視覚障がい者への拡大写本の実際を、ささの会の中瀬さんより視覚障がい者への外出援助活動について、福祉有償運送では、佐藤さんより外出困難な方への支援活動について、それぞれお話を聞いた。また、困りごとに対応するボランティア「いるかバンク」について、市社協の坂口さんより説明があった。(小山)

久しぶりの ハンディキャップ活動者交流会



ハンディキャップ活動者交流会を開催(7月29日)。7月末の猛暑の土曜日の午後、ひんやり涼しいあじさい会館の6階でハンディキャップ(HC)活動者の交流会が9ヶ月ぶりに開かれました。

運転手、運行の手配をする事務局員を合わせて15名が参加、HC委員長でもある加藤会長の「HCの歴史はボラ協の歴史」との挨拶で始まり、事務局からの連絡や自己紹介、意見の交換など事務局長の小野さんの司会で和やかな雰囲気で行いました。

前週にあったボラハンティア養成講座において運転手でもめる佐藤一香理事が発表したHC運転活動の紹介を再現していただきました。20名足らずのボラハンティア運転手で年間1130件の運行をしているという数字に改めて驚かされます。

事務局から2019年から導入した運転のポイント制とそのポイントを使うHC無料利用券の説明もありました。利用者の安全に気を配り、時には自分の用事も後回しにして運転を引き受けて下さるボラハンティアに何か報いたいとスタートしたものです。今年5月いっばいで運転手引退の小野さんに感謝状



贈呈のセレモニーもあまりました。無料券の取得は断然トップ。利用していただけたのが楽しみです。
懇談では、お菓子とお茶を前に心と口がほぐれ、ボラハンティアを始めたきっかけをお話して下さる方が多くいらっしゃ

しやり、HC運転歴まだ数年の筆者は協会の歩みとして大変興味深く聞かせていただきました。

運転手心算のきつかけは知合いに誘われたという事由が多いようで、これから誘えそうな人を思い浮かべる場面も。女性ドライバーもここ数年で増え、利用者の方が却って喜ぶようになった話もありました。

以前は利用者の送迎に介助要員が同行するというのが余裕があったのですが、今は、予約が集中すると心苦しくも運行をお断りをするようになっていない。新型コロナウイルスも五類移行となり運行予約が増えた反面、運転手の方の感染などもじわじわ増え、運行の手配も綱渡り。事務局員も悩んでいます。

運転手の高齢化で、HCの送迎での長い待ち時間仕事の休みを返上しての活動などの負担を減らす方策も必要、また、協会の所有車の老朽化で買い換えないといけない課題がでてきました。

利用者の方からは、利用回数を増やしてほしい、津久井等地域を受け入れてほしいなどの要望もあちらうですが、運転手不足で現利用会員の需要にこたえられない現状から実現は難しいです。

運転手が増えることがいろいろな課題の解決につながる。『仲間を増やそう』とこのHCの課題を締めくくられました。

次回ももっとたくさんの方の参加者で親睦を深めながら情報交換ができるのいいなあと思います。

(本誌)



小野さん、長い間本当にありがとうございました。

9月の記念日は？ 小倉義男

9月10日、下水道の日です。下水道の整備の促進について人々の理解と協力を呼びかけようと、1961年に建設省(現国土交通省)が制定。この時期が立春から数えて220日目に当たる二百二十日で台風による水害が発生しやすい時期であるために、下水道の大切さをアピールするのに最適であるとしてこの時期が選ばれたそうです。最近では、マンホールの蓋のデザインも注目されてきていますね。



小倉画

出典:「今日は何の日」アプリより

クイズに挑戦



「いつかやめ慣用句」に関するクイズです。
①慣用句「にっこもさっちもいかなさ」の由来になった道具は何でしょうか。

②「やじを投げる」の由来で、やじを投げたのはどんな職業の人でしょうか。

③「急がば回れ」の由来で、遠回りのたじろむ場所は次のうちどこでしょうか。

- ①江戸城
 - ②富士山
 - ③伊勢神宮
 - ④琵琶湖
- *答えはページの後ろに探して下さい。

ボランティア活動グループ訪問記

ガマシマ

生活家電支援事業で生活困窮者を支援



梅雨も明け熱中症予防シートが発売されるほどの暑い日が続く7月29日(土)がみはひのDGSパートナーに登録され、生活家電で生活困窮者の支援活動をしているNPO法人サテラ理事長庄田浩之さんにお話を伺いました。

当店は家電製品置き場としての利用している上溝にある倉庫を訪ねました。倉庫は3つの一軒家で大家さんの好意で貸していただいているんです。庄田さんは消費者庁認定食品ロス削減推進サポーターでもあります。

部屋に入ると先ず目に入ってきたのは、冷蔵庫。小型であるが冷凍室も付いている80Lの冷蔵庫が扉を開けた状態で整然と並んでいます。冷蔵庫は扉を閉め切っておおく海気でも良くなるので開いたまましておくといいです。



サテラ代表の庄田さんと寄贈の冷蔵庫

他に加温器、電気ケトル、電子レンジなど、どれもまだ新しくきれいなままです。冷蔵庫、加温器はコロナ感染症の隔離病棟で購入されず不要になった物を払い下げられたんです。どれも200年前後の製造で新しい物です。家電製品は製造から7年以内の物だけを引き取っているそうです。

それ以前の物は、部品保存期間や、火災の原因になるなどの理由から、また改造された物も引き取れないです。製品はホームページを見た方や、学生さんが卒業時の寄付による物などです。

支援を受ける方々は、ホームページを見た一般の方、市社協さん経由、青少年相談センター、高齢者支援センターの紹介による方々です。また、PRは市社協の広報紙、上溝地区社協の回覧板に掲載していただいているそうです。生活家電支援事業を始めたきっかけは、先に始めたフードバンク事業だったそうです。

(1) サテラの設立はいつですか？

平成29年の6月、11人で設立し、今、実際に活動している人は4人です。

(2) サテラ設立のきっかけは？

大学卒業後食品会社に入社、外食産業、中食、スーパー、コンビニのお惣菜製造会社と経験し、食品のロスの多さにもつたない、どこにかならないのかと思っていました。その後、NPO法人の無料低額宿泊所で施設長をやっていた時、施設に入居している人はNPOからの支援を受けられるが、入っていない人はどうするんだらっという思いがあったので、フードバンクを始め、半年後に生活家電支援をプラスしました。

(3) サテラの事業内容は？

フードバンク事業、生活家電バンク事業、DV被害者支援、生活困窮者支援などです。フードバンクでの食品は市内の企業や福祉施設の備蓄品の入れ替え時、ホームページを見た一般の方、フードバンク神奈川などからの寄付です。

食品は賞味期限、消費期限があるため、配布時に正しく説明、伝えて提供しています。配布先は、子供食堂、みんなのきわい処、ホームページを見た一般の方、高齢者支援センターからの紹介などです。フードバンクの中には市の要請がないと支給しない所もありますが、サテラでは直接お届し、生活状況を確認。行政と繋がっていない人をいかに繋げていくかがDGSに繋がっていきます。困窮状態であるが、どことも繋がっていない人達を繋げるツールとして活用しています。

食品は自らの部屋に保管しています。運営は、県の助成金で行っていますが、ガソリン代、家賃などで消えていきます。身体的にいつまで続けていけるかなあと思っています。

サテラは食を通していろいろな事に気づき、繋げ広げているんですね。ありがとうございます。

(杉崎・小山)



寄贈されたいろいろな家電

サテラさんはボランティアスタッフ募集中!

(NPO) 特定非営利活動法人 サテラ
理事長 庄田 浩之
〒252-0243
相模原市中央区上溝1906-4-4
TEL 042-813-6363
URL <http://npo-satella.or.jp>
E-mail h.shoda@npo-satella.or.jp

8月19日(土) 定例理事會(理事會の20日席)

〈委員會報告〉

◆広報委員會

・7〜8月の印刷・発送作業、掲載内容について
・ホームページ更新について。現在は復旧。

◆HC委員會

・7月29日に開催したHC交流会の報告

◆事務局委員會

・神奈中バス運賃値上げに伴う経費増について
・11月車力ソシニカードの今後の対応について

◆講座委員會

・7月22日に開催した夏講座の報告、春講座について

◆傾聴委員會

・傾聴活動PARSONSの反響について

◆DVD製作実行委員會

・活動内容、組織内容について

〈その他報告〉

・ほかほかふれあいフェスタ2023の進捗状況、家員転倒防止ボランティアの活動周知について、6月に開催した交流ボウリング大会の反省會報告

〈審議事項〉

・市社協からの助成金状況及び近々のボラ協財政状況の課題と課題解決のための検討方法について
・感染症流行時のHC運行について(確認)→5類前の感染対策の再徹底と感染予防、感染対策の再周知及び無理のない範囲での運転者の交代、交代が困難な場合には該当の運行を中止するが、いきなり「止めない」方向に対応する。

【次回定例理事會(9月9日(土)) 10時より】



相模原ボランティア協会 9月の予定

日	時間	内容
1(金)	9:00~	相模原市総合防災訓練
8(金)	10:00~	講座検討委員会
9(土)	10:00~	理事会
15(金)	10:00~	広報委員会・ぼら通部会 & ほかほかふれあいフェスタチラシ発送
16(土)	13:00~	事務局委員会
19(火)	10:30~	ぼら通9月号印刷
22(金)	13:00~	ぼら通9月号発送
30(土)	13:30~	HC委員会



募集中!

ボランティア協会 事務局員 募集

協会の事務局員として活動してみませんか?

活動場所: 協会事務局

あじさい会館2階中央ボランティアセンター内

活動内容: 週1~2日、1日5時間程度

特定非営利活動法人の事務処理、運営業務の事務処理など、簡単なパソコン作業

※些少ですが活動費補助制度があります。

連絡・問い合わせ先:

協会事務局 042-759-7982



あら、ほんと?

~道具を使う3つ目の動物~

目的に合わせて道具を選び、使う動物の仲間 ヒト、チンパンジーに続き、オウムが加わることが明らかになったようだ。

オーストラリアのウィーン獣医科大学で、シロビタイムオウムを対象にした実験を行ったところ、1つの目的を達成するために2つの道具をセットで使うことを認識しているという、自然環境で観察されていた行動を裏づける結果が出た。

これまでにヒト以外でこうした行動を取る事がわかってきたのは、アリ塚の穴に植物の茎などを突っ込んでシロアリを釣り上げる、チンパンジーだけだったようだ。

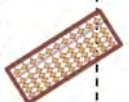
*ナショナルジオグラフィック 7月号より

クワンゾク

①は①の音で「クワンゾク」。「クワンゾク」は「クワンゾク」を漢字で「クワンゾク」に置き換えて「クワンゾク」と書きます。「クワンゾク」は「クワンゾク」の計算で使われる言葉です。

②は①の医者。これは薬を調合するための道具です。医者が、患者の治療法はこれ以上ないと判断し、薬を投げ出した「クワンゾク」来します。

③は①の琵琶湖。琵琶湖の先に行くには、危険な船を使っても、遠回りをしてでも安全な橋を渡ったほうが良いというところから生まれた言葉といわれています。



会員のひろば

会員の皆さまより 自由記語のついでに
またのコーナーです。

久しぶりに高齢者施設で活動

シルバー友の会 尾野輝男



「コロナ禍でボランティア活動も思うようにできなかつた昨今。新型コロナウイルスの影響も少しは緩和され、高齢者施設での活動も少しずつ再開されるのでは」と。

7月19日(水)、久しぶりに「コスモスセンター」のデイサービス部門の「すこし我が家」での納涼祭のお手伝いに参加した。平日の午後、約30名の利用者が昼食後の一休みをしておられた。それぞれ思い出話をしたり、くつろいだ雰囲気の中にあつた。

当日は男性ボランティア3人(毎年一緒に納涼祭の手伝いをしてる橋本のグループ)と私の4人がボランティアとして入つた。

利用者の皆さんに紹介され、それぞれ行事に参加した。

私と男性ボランティアの一人と組んで、おもちゃの金魚すくいを手伝った。利用者それぞれが、おもちゃの金魚が入った水槽の前ですわり、金魚すくい器が破れるまで何回も金魚すくう歓声をあげてた。30匹以上すくうという大漁として記録され、喜びを表していた。

次に手回しのかき氷器で、二人がかりでかき氷を作り、職員分も含めて全員で賞味してもらつた。希望するしモンやオレシなどのシロップをかけて、食べやすいかき氷を作り配布した。

職員の方々の笑顔が、とても嬉しかった。活動もとても楽しかった。

2023年度夏講座を受講された皆さんからいただいたアンケートより

障害とは何かを考えたせられませんでした。まだ十分理解できていませんが、本日の講演が一つのきっかけとなりましたので、これからも勉強を続けたいと思います。

今まで障害について個人モデルでしか考えていなかったことに「ハッ」とさせられました。合理的配慮と使いやす、優しいを混合(混同?)していることがありましたので、今回講演を聞いて自分の中の知識が整理されました。とても勉強になりました。ありがとうございます。

今後、子どもと一緒に勉強ができる機会があるというな思いました。

ありがとうございます。勉強になりました。まず、私のいきなりから勇気を出して行動できたという思いました。心情的にタイムアウトに伝わってました。

盲導犬の入店拒否がありました。できれば介助犬、聴導犬の認識がまだ浅いので、「身体障害者補助犬」としてほしい。演習が勉強になりました。この「天才」を使って職場の皆と観てみたい。「障害とは何か」を考へる機会になんと思えました。

障害とは何か? 差別とは。今まで私の思っていたのと違うや同じであった。障がい差別は小さい時、子ども時から教育が必要であると思っています。

障がいの「がい」の字について・・・書や碑を使うのに私は反対。医療モデルじゃなくて社会モデルというけど、なんか現実を見ていない、キレイごとを感じる。障がいは個性という考えの方が良いと思つたのかな。

ボランティアさん募集！

デイサービス利用者の日課活動支援

依頼先：デイあやとり（中央区淵野辺 2-16-24）

日時：月～日曜日（希望する曜日・時間帯を教えてください、月一回から活動可能です。）

内容：①午前 9 時 30 分～12 時 入浴後の利用者のドライヤー掛け・お話し相手 等
②午後 1 時 30 分～4 時 レクリエーションのお手伝い 等

その他：駐車場あり・交通費なし・マスク持参

※ 9 月 7 日午後開催されるボランティアセミナーで施設見学ができますので、そちらの参加もぜひご検討ください！

高齢者の囲碁のお相手

依頼先：ツクイ相模原矢部デイサービス（中央区矢部 2-6-5）

日時：応相談（月 1 回から活動可）

内容：利用者の囲碁のお相手（詳細は改めてお伝えします）

持ち物：室内履き（スリッパ不可）・マスク持参

その他：駐車場あり・交通費なし



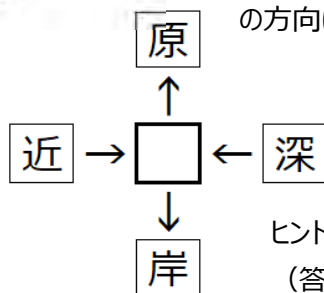
*** 申込みはいずれも下記連絡・問い合わせ先にご連絡ください ***

連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター：電話 042(786)6181

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



ヒント 夏はここ ...
(答えは編集後記の隣だよ)

ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切にに使わせていただきます。

<7月の寄付者>

佐藤一春様他 6 名の方からご寄付をいただきました。

<7月の寄付金>

総額 66,500 円でした。

二字熟語の答え「海」

編集後記
コロナ禍の外出行制限も解除され、4年ぶりににぎわいを見せた上満夏まつり。夕方の上溝駅は入場制限まででるにぎわいだったようだ。わが家までおはやしの音が聞こえてきた。
各地で夏のイベントがもどってきましたね。(み)



山口尚美画

《今月のイラスト》
小さくたって
お洒落したい！